Ⅲ　パリ大学の歴史に関して述べた次の文章を読んで，問12～問18に答えなさい．解答は，設問で指定された場合を除いて，すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい．

中世ラテン語の *Universitas* という語は「共同体」を意味した．パリ大学もそうした教師と学生の「共同体」からはじまった．その起源は12世紀後半にもとめられ，13世紀前半に教皇の特許状を得て，自治をおこなった．神学部を中心とし，ラテン語が用いられた．A教師も学生もしばしば複数の大学を遍歴した．しかしのちに，パリ大学は自治権を王に奪われた．パリ大学につどった神学者たちは，Bルネサンス期には人文主義を歓迎せず，C17世紀，18世紀に生まれた新しい思潮に対しては，それらを批判した．

フランス革命は，大学制度にとっても転換点となり，パリ大学は他大学とともに廃止された．その後，Dナポレオンのもとで再び導入された大学制度により，パリ学区に五つの学部が設置された．Eフランス革命以後，19世紀のフランスではさまざまな政治的事件が起きたが，学生たちもそこに参加した．20世紀後半，1968年には五月危機（革命）が起き，大学はその主な舞台の一つとなった．その際，F哲学者サルトルは，学生運動への支持を表明した．

問12　下線部Aに関連して，次の文章を読んで，（a）～（d）に入る人名を，下の1～9の中からそれぞれ選びなさい．（重複使用不可）

中世の大学に用いられた教育法はスコラ学に基づき，講読と討論とを中心とした．スコラ学を大成し『神学大全』を著わした（　a　）は，ナポリ，パリ，ケルンなどで学んだあと，パリ大学教授となり，イタリア各地でも教えた．経験と観察を重んじ『大著作』において「実験科学」という語を用いた（　b　）は，オクスフォードのみならず，パリにも赴いた．スコラ学に欠かせないのが古代ギリシアの（　c　）の哲学である．コルドバ生まれの法学者であり，医学者でもある（　d　）は，イスラーム世界につたわる（　c　）のほぼすべての著作に注釈をおこない，それがラテン語に翻訳され，スコラ学にも大きな影響を与えた．

1．アベラール	2．アリストテレス	3．イブン＝ハルドゥーン
4．イブン＝ルシュド	5．ウィリアム＝オブ＝オッカム	6．ソクラテス
7．トマス＝アクィナス	8．プロタゴラス	9．ロジャー＝ベーコン

問13　下線部Bに関連して，15世紀なかばに，ヨーロッパにおいて書籍の製作が飛躍的に容易になった．その要因は何か．2つの技術に触れつつ，〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい．

問14　下線部Ｂに関連して，次の資料アは16世紀に出版されたある文芸作品の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）．これを読んで，以下の（1），（2）に答えなさい．

ア

> ところが，わが神学者先生たちときたら，自己満足にひたって得意満々，みずからを褒めちぎって，昼夜を分かたずこの心楽しいたわごとに没頭していますから，一度たりとも福音書やパウロの書簡を繙（ひもと）く暇もありません．それでいて，学校でこんな馬鹿げた遊びに耽（ふけ）っていながら，自分こそは三段論法で全教会を支えており，さもなくば教会は崩壊するであろうと考え，それは，詩人たちが詠っているように，アトラスが両肩で天を支えているのと同じことだとしているのです．

（注）アトラス：ギリシャ神話における巨神族の一人．

（資料出所は省略する．）

（1）　次の資料ａ～ｃは，資料アの著者が，資料ａ～ｃ内の波線部αにあてた手紙の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）．これを読んで，資料アの著者および波線部αの人物の名を，それぞれ〔解答欄Ｂ〕の所定の欄に記入しなさい．

a

> α大兄がいやいやながら宮廷へ引きずり込まれてしまったことについては，α大兄がお仕えするのが最上のβ君主だということが，唯一の慰めです．しかしそれは間違いなく，私にとっても文芸にとっても，α大兄というものが失われたということになるのです．

b

> α大兄もタンスタルも力を尽くして，私にルターに論駁（ろんばく）する筆を執らせようとしておられますね．（中略）お二人とも，私が全力を挙げてルターに立ち向かったならば，世人への影響力は大きいとお考えのようです．ところが私としては，そんなことをすればただ蜂の巣をつついて蜂を怒らせるだけだと，まあ固く信じています．

（注）タンスタル：カスバート＝タンスタル．資料アの著者の友人

c

> 私はと言えば，私にこんなことを強いた実に愚かな神学者どもを時折呪いながら，世にも危険な旅路へ踏み出そうとしています．（中略）私の遣わしたジョンが，α大兄と話し合って，使用人の一人として雇っていただけることになったと聞きました．それが本当なら，本当にうれしいことです．なにしろ彼の母親は，息子が無事でいられるのはイギリスだけだと思っていますからね．

（注）ジョン：ジョン＝スミス．資料アの著者のメッセンジャー役であった．

（資料出所はいずれも省略する．）

（2） 資料 a 内の波線部 β は，自国の教会制度を従来のものから大きく変化させた．波線部 β の人名を明らかにしたうえで，その変化の内容を，〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい．

問15　下線部Ｃに関連して，次の資料ａ～ｃは，それぞれ17世紀から18世紀にかけてヨーロッパで発表された著作の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）．それぞれの著作の著者名の組み合わせとして適切なものを，下の１～６の中から選びなさい．

a

幾何学者らが，かれらの最も骨の折れた証明にたどりつくために，つねに用い慣れた，実に単純で容易な，論拠から論拠への長い鎖は，何かのおりに私にこんなことを考えさせたのである，人間に知られうるようなものは何から何まで，これと同様の仕方で連続し合っているのであろう，そうしてそれらのもののうち真ならぬものを真なるものとして決して受けいれることなく（中略）必要な順序を守りつづけさえするならば，最後まで到達できぬほどの遠くにあるものも，発見できぬほどに隠されているものも，断じてありえないであろうと．

b

20　耕作すべき大領土を持っていて，さかんな粗生生産物貿易を容易に行うことのできる国民は，農業の労働と支出を犠牲にしてまで，金と人を製造業と奢侈品商業に使いすぎる，といったようなことは避けなければならない．何より先ず，豊かなラブルールで王国は満ちていなければならないからである． 21　政府は節約に専念するよりも，王国の繁栄に必要な事業に専念すること．なぜなら，支出が多過ぎても，富が増加すれば，過度でなくなりうるからである．

（注）ラブルール：耕作者を意味する．

c

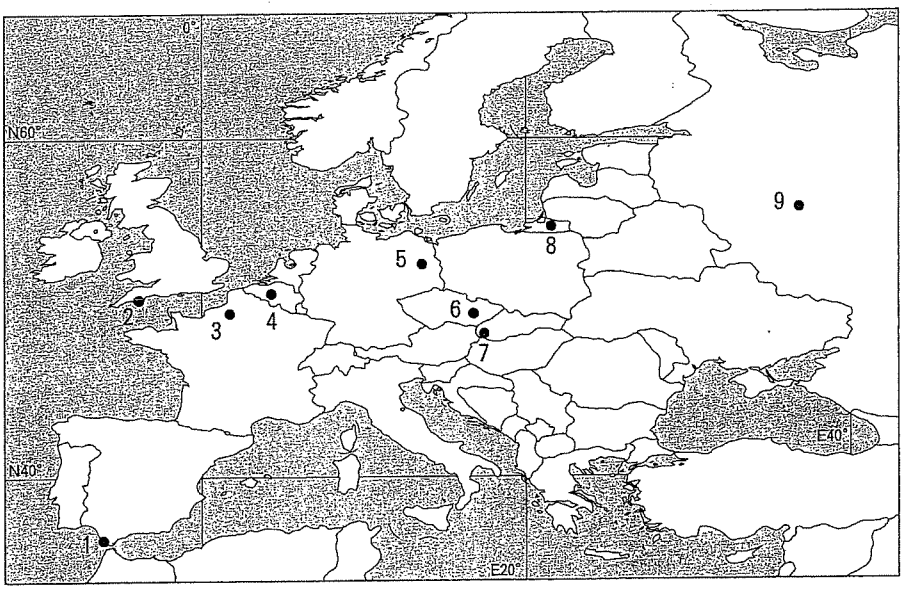
それであるからわれわれは，人間の本性のなかに，三つの主要な，あらそいの原因を見いだす．第一は競争，第二は不信，第三は誇りである． 第一は，人びとに，利得をもとめて侵入をおこなわせ，第二は安全をもとめて，第三は評判をもとめて，そうさせる．第一は自分たちを他の人びとの人格，妻子，家畜の支配者とするために，暴力を使用し，第二は自分たちを防衛するために，第三は，一語一笑，ちがった意見，その他すべての過小評価のしるしのような，些細なことのために，それらが直接にかれらの人格にむけられたか，間接にかれらの親戚，友人，国民，職業，名称にむけられたかをとわず，暴力を使用する．

（資料出所はいずれも省略する．）

1．	a　ケネー	b　デカルト	c　ホッブズ
2．	a　ケネー	b　ホッブズ	c　デカルト
3．	a　デカルト	b　ケネー	c　ホッブズ
4．	a　デカルト	b　ホッブズ	c　ケネー
5．	a　ホッブズ	b　ケネー	c　デカルト
6．	a　ホッブズ	b　デカルト	c　ケネー

問16　下線部Ｄに関連して，次の文章を読んで，（ａ）～（ｄ）に入る地名の場所として最も適切なものを，下の地図中の１～９の中からそれぞれ選びなさい．（重複使用不可）

ナポレオンの台頭は，ヨーロッパ諸国をさらなる戦争に巻きこんだ．一連の戦争の背景の一つには，英仏の経済的対抗関係があった．1802年に両国は（　ａ　）で和約を結んで講和したが，対立はすぐに表面化し，再び戦争が始まった．海上では，1805年にネルソン提督率いるイギリス軍が（　ｂ　）岬沖で勝利し，フランスのイギリス本土上陸を頓挫させたが，大陸に軍を展開させたナポレオンは，オーストリア，ロシア，プロイセンに次々と勝利していった．こうした中，1806年に（　ｃ　）を占領したナポレオンは，イギリス経済への打撃をねらって大陸封鎖の勅令を（　ｃ　）で発した．翌年，（　ｄ　）でロシアとプロイセンはそれぞれフランスと和約を結び，ロシアは大陸封鎖に協力することになり，プロイセンは広大な領土を失った．しかし，大陸封鎖はイギリスと密接な経済関係をもっていた大陸諸国の経済を疲弊させ，ナポレオンの大陸支配を動揺させていった．



備考：国境線は現在のもの．

問17　下線部Ｅに関連して，フランスではフランス革命以後，選挙制度も変遷した．国民公会を成立させた選挙制度と，七月王政下の選挙制度との違いについて，〔解答欄Ｂ〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい．

問18　下線部Ｆに関連して，次の文章を読んで，以下の（1），（2）に答えなさい．

サルトルは1905年，パリに生まれた．1938年に小説『嘔吐』を，1943年には哲学書『存在と無』を発表した．第二次世界大戦後は実存主義が流行し，名声を得，発言の機会が増した．1948年から49年にかけて資本主義とも共産主義とも異なる第三の道を探る革命的民主連合に参加する．しかし，この運動はいきづまり，1952年リッジウェイ将軍訪仏反対をめぐる事件を機に，フランス共産党の「同伴者」となる．しかし，α ソ連の外交政策をきっかけに，ソ連を批判し，共産党と訣別する．β アルジェリア戦争に際しては，アルジェリア独立派を擁護した．1966年に日本を訪れた際には，慶應義塾大学三田キャンパスで講演をおこなった．

（1）　下線部αに関連して，次のａ，ｂの出来事はそれぞれ下の年表のどこに入るか．年表中の空欄１～５の中からそれぞれ選びなさい．（重複使用不可）

ａ．ソ連が，ドイツの米英仏占領地区での通貨改革に反発し，米英仏占領地区から西ベルリンへの陸上交通を遮断した．

ｂ．ソ連軍がハンガリー国内に軍事介入し，ナジ＝イムレが拘束された．

1

スターリンが死去した．

2

ソ連共産党第20回大会で，フルシチョフがスターリンを批判した．

3

東ドイツ政府が東西ベルリンの境界に壁を築いた．

4

フルシチョフが第一書記および首相の座を追われた．

5

（2）　下線部βに関連して，アフリカ諸国の独立に関わる次の１～４の出来事を，年代の古い順に並べ替え，その番号を左から記入しなさい．

１．アフリカ統一機構が結成された．

２．アルジェリアが独立した．

３．チュニジアが独立した．

４．フランスで第五共和政が発足した．